

# 教 師 ノ ー ト

日付	2021年 5月23日
単元	ペンテコステ
テーマ	人間の限界を超える力を与える聖霊
タイトル	異邦人コルネリオの救い
テキスト	使徒 10:1-48
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ルカ 18:27 or ガラテヤ 5:22-23
AG 日曜学校教案参照箇所	小学下級1巻―主題3―12課、中学科2巻―主題4―2課、幼稚科1巻―主題1―8課
□導入	<p>走るの好きですか？陸上の世界では長い間100mを9秒台で走るの理論的に無理だと考えられていたそうです。そして実際にそのような記録は出ませんでした。しかしそのような考えを気にせず「できる」と信じる男が現れました。そして彼は本当に9秒台の記録を出したのです。さらに興味深いことは、その後続々と9秒台をマークする選手が現れたということです。「できない」と決めつけていることはありませんか？神様はあなたが思う以上に偉大なお方です。神様にできないことはありません。</p>
□ポイント1 神様は異邦人コルネリオに幻の中で語られました	<p>カイザリヤという港町にコルネリオという人がいました。コルネリオはローマの兵隊の百人隊長をしている人でした。コルネリオはユダヤ人が差別をしていた異邦人でしたが、ユダヤ人の信じている神様のことをよく理解していて、自分も神様を受け入れ敬っていました。そして、ユダヤ人と同じようにたくさんの施しをし、いつも神様にお祈りをしていました。</p> <p>そんなある日午後三時ごろコルネリオがいつものようにお祈りしていると、幻の中で神様のみ使いをみたのです。天使はコルネリオに言いました「コルネリオよ。」「はい、なんでしょうか」「あなたのお祈りと神様のための良い働きは神様にきちんと覚えられています。さあ、今ヨッパというところに人を遣わしてシモンという人を招きなさい。この人はペテロとも呼ばれています。この人は皮なめしのシモンという人の家に泊まっていますが、その家は海辺にあります」そこで、コルネリオはみ使いに言われたとおり、しもべたちにこのことを話してから彼らをヨッパに送り出しました。</p>
☞「カイザリヤ」…地中海に面した交通要所の重要な港。ローマから派遣された総督が駐在した。	
☞「百人隊長」…百人の兵士を統率している隊長。下士官に相当する。	
☞「敬虔な人」…異邦人がユダヤ教徒になるためにはユダヤ教教理を受け入れること、宗教的慣習を守ること、男子は割礼を受けることが必要であった。しかし、割礼を受けることは異邦人には抵抗があり、他の点ではユダヤ教を受け入れながら、割礼を受けていない異邦人がいた。このような異邦人をユダヤ教の観点から「敬虔な人」と呼んだ。当時離散するユダヤ人(ディアスポラ)社会はこのような賛同者を多く得ていたようである。	
☞「午後三時」…ユダヤ教徒の夕方の祈りの時。(参照:使徒3:8)	
☞「皮なめし」…動物の死体に触れるので汚れた職業とされていた。キリストの弟子ペテロがこのような人の家に泊まっていたということは、彼がユダヤの社会的偏見や習慣に拘束されていないことを表しているといえる。	

## □ポイント2 神様はペテロにも幻の中で語られました

翌日、コルネリオからの使者が町の近くまでやって来た屋の12時頃、ペテロは祈るために屋上に上りました。すると、ペテロはとてもお腹が空いて食事をしたくなりました。そして食事の用意がされている間にうっとり夢心地になったのです。すると、幻の中で天から大きな大きな布の様な入れ物に入れられてたくさんの動物、地を這う生き物、空の鳥が降りてきたのです。

ペテロはびっくりしました。すると、天から声が聞こえてきました「ペテロよ。さあ、これらのものをほふって食べなさい」「神様、それはできません。私はまだ一度も律法できよくないとされた物や汚れた物を食べたことはありません」と再び天から声がありました。「神様がきよめた物をきよくないと言ってはいけません」として、同じようなことが三度あってから入れ物はすぐに天に引き上げられていったのです。

- ☞「きよくない物や汚れた物」…旧約の律法にはある種の動物は汚れているので食べてはならないという規定がある。それは宗教的な意味においてはあがあるが、ユダヤ人は決して汚れた物を食べることはなかった。しかし、イエス・キリストはどんな食物も人を汚すことはできないと言われた(マルコ7:18,19)。食物の規定は旧約時代のものであり、キリストの贖いにより新約時代には汚れた物も神によってきよめられたのである。このことは食物の規定ばかりではなく、民族的、人種的にも適用される。それがこの幻の示すところである。

## □ポイント3 聖霊はペテロを異邦人コルネリオのところへ遣わされました

ペテロが今見た幻の意味は一体何だろうと思いつめると、聖霊がペテロに語られました。「見なさい、三人の人があなたを訪ねてきています。ためらうことなく一緒に行きなさい。わたしが彼らを遣わしたのです。」そして、コルネリオの使いたちはペテロに事の次第を話しました。そしてペテロは彼らと一緒にカイザリヤに同行しコルネリオと出会ったのです。そこには家族や親しい友人たちもいました。ペテロはコルネリオから話を聞くとこれは神様から出たことであることがはっきりとわかりました。そしてコルネリオとそこにいた人々の前で言いました。「私は今はっきりとわかりました。神様はユダヤ人も異邦人もなく、どこの国の人であっててもどんな人であってても、神様を信じる人を受け入れてくださるのです。十字架にかかれ、三日目によみがえられたイエス様こそ私たちの罪からの救い主です」ペテロは大胆にイエス様を証しました。

すると、ペテロがまだ話しているうちにみ言葉を聞いていたすべての人の上に聖霊が臨まれました。ペテロと一緒にきた弟子たちも驚きました。異邦人の上にも聖霊が臨まれ彼らが異言を話し、神様を賛美するのを聞いたからです。そしてコルネリオもそこにいた人々もみなイエス様を信じるバプテスマを受けたのでした。

## □結論 聖霊は人の考えや限界を超える力を持っておられるお方です

### □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. 聖霊はペテロを通して異邦人であったコルネリオにも神様の福音を伝えるように導かれました。ユダヤ人は異邦人は神様の祝福を受けることはできないと考えていましたが、聖霊によってユダヤ人と異邦人との間にあった厚い壁は取り除かれました。こうして福音はエルサレムから始まり、ユダヤ、サマリヤの全土、さらに地の果てまで聖霊の力によって大きく広まっていきました。あなたは人の考えで無理だろうと限界をつくっていることはありませんか？神様の力は無限大です！
2. 愛せない人、この人とはうまくできないと自分で壁を造ってしまっている人はいませんか？決して超えることはないと思われたユダヤ人と異邦人の壁は聖霊の力によって打ち破られました。聖霊による愛の力をいただきたいと思いませんか？愛は聖霊が結ばせる実です。聖霊の力と導きを祈り求めませんか？